

# 知恵の樹

No. 212 2017.4.25

町田の図書館活動を  
すすめる会

代表：手嶋 孝典  
[teitaka@f8.dion.ne.jp](mailto:teitaka@f8.dion.ne.jp)

## 知っていますか？

『まちだニューパラダイム 2030 年に向けた  
町田の転換』(町田市未来づくり研究所からの提言)

守谷 信二

町田市では、去る 2 月 17 日に「まちだ未来づくりプラン」に基づく「5 ヵ年計画 17-21」が公表されました。そこには博物館の閉鎖や市民文学館の存廃の検討、生涯学習センターや自由民権資料館の運営手法の見直し(「民間活力」の導入)、図書館の再編(統廃合)等が明記されています。さらに今年度中には、「町田市公共施設等総合管理計画(実行計画)」「施設再編計画」の策定も行われ、各々の具体的なスケジュールなどが示されようとしています。実は、この「5 ヵ年計画」や「施設再編計画」の考え方のベースになっているのが、標記の『まちだニューパラダイム 2030 年に向けた町田の転換』です。

これは、2015 年 3 月に町田市未来づくり研究所が公表した、30 年後の町田市のあり方に関する提言書です。未来づくり研究所とは、市が「社会・経済状況の変化に的確に対応し、町田市が抱える課題を解決していくため」、2013 年 4 月に政策経営部企画政策課内に設置した研究組織です。

\* \* \* \*

さて、その提言内容ですが、全編にわたって「寂れゆく町田の未来」対「きらめく町田の未来」の対比が執拗に繰り返され、「寂れゆく町田の未来」が嫌なら従来の考え方を捨てて、次の 2 つの「パラダイム転換」を敢行しなければならないと強調されます。

**第 1 の転換**は、公共サービスのあり方の転換です。いわく、「SMART PUBLIC—新しい公共サービスのカタチ」への転換。具体的な提言内容を見てみましょう。

**提言 1 「公共施設は 4 つの核に集約し、より**

**サービスレベルを上げる」**。つまり公共施設を統廃合することで数を減らし、必要なものだけ「町田市の 4 つの核(都市核=町田駅周辺、副次核=鶴川・南町田・多摩境の各駅周辺)に集約を図る」。また、その際、運営等に民間のノウハウを活用する。

**提言 2 「4 つの核への重点投資」** そのうえで「行政は限られた資源を 4 つの核に重点的に投資し」、「民間投資も呼び込んで、町田を牽引する拠点とする」のだそうです。

**提言 3 「4 つの核への公共交通を強化する」** 公共施設を 4 つの駅周辺に集約しますから、「市内どこからでも 4 つの核へ 15 分以内でアクセスできるよう」バス増便などの必要性が出て来るわけです。

**提言 4 「公共サービスはふさわしい価格で提供する」** それでも「時として真に必要とされているサービス量(実需)を上回る需要を生んでしまう場合」がある。そのときは、「サービス価格を値上げしてでもより多くの市民がサービスを受けられるように」、「実需に応じたふさわしい価格設定をしていく必要がある」。ここで言われる「真に必要とされるサービス量を上回る需要」とは、おそらく集会施設を統合・集約すると、現状でもなかなか集会室の予約が取れないのに、さらに取り難くなるということを行っているのでしょう。それは「真に必要とされるサービス量」ではないから、利用料金を上げますよということです。

**提言 5 「公共サービスは民間事業者や市民団体等も提供する」** すべてのサービスを市で賄えるわけではないから、委託その他の方法で「民間事業者や市民の創意工夫や柔軟な発想を活かしてサー

ビスを提供」する。ここには成功事例として、かの武雄市図書館が紹介されていますが、同図書館をめぐるその後のトラブルなどをみれば、そう結構なくめの簡単な話でないことは明らかです。

**提言6 「公共サービスの財源は、そのサービスの中で調達する」**つまり「公有財産管理から公有財産活用への発想の転換」を行い、「多様な資金調達の手法を組み合わせ、税金に頼らないサービス提供の仕組みを模索する」という具合です。

\* \* \* \*

**第2の転換**は、「まちづくりの価値観の転換」、いわく「GREEN×PLAZA(グリーン×プラザ)」。

これは従来の「道路や公共施設整備といったハードのまちづくりから脱却し、いかに人々が交流し、多様な活動を生み出していくか」ということを重視するまちづくりのコンセプトで、都市核と副次核を中心とする「創造のプラザ」と、住宅地を中心とする「暮らしのプラザ」を、町田のシンボルである「GREEN」(注1)で彩るというものです。

**提言1 「町田発の事業やカルチャーが生まれる出会いと交流の場を創出する」**つまり「4つの核にたくさんの才能や技術が出合う場を様々な形で創る」⇒「創造のPLAZA」(起業・開業、町田発のカルチャー、こここそ町田！という空間)。

**提言2 「自分達の生活を豊かにするための活動や取組みを展開する」**すなわち「小学校や空き地・空き家を活用して、暮らしに身近な場所での活動や取組みを展開する」⇒「暮らしのPLAZA」(暮らしに身近なお気に入りの場所:公園・小学校・神社やお寺、自然や農、楽しくお得にみんなと住む:団地・シェアハウス)。

以上が、『ニューパラダイム』の大よその内容です。

ひとことで言えば、ともかくこれから市の財政は厳しくなる一方なのだから、これまでのように身近に公共施設を配置・維持することはできませんよ。最低限のものを駅周辺に集約しますから、必要なら駅まで出て来てお使いください。その分、いくらか交通の便は考慮しましょう。集約の結果利用が集中すれば、「ふさわしい価格」へ値上げも止むを得ませんね。

そのうえで駅周辺に税金を重点投資し、駅前がいくらか賑やかになれば、多少の税収増が可能かもしれ

れません。便利な公共施設は身近からなくなります。近くの公園や学校、空き家などで趣味やボランティア活動にお励みください、ということでしょう。

何のことはない。これまで様々に試みられてきた行革手法が、事ここに至って「ニューパラダイム」という一見目新しい装いで、再提出されているに過ぎない、という気がします。第1の「SMART PUBLIC -新しい公共サービスのカタチ」への転換の具体性に比べて、第2の「まちづくりの価値観の転換」が、いかにも方法論に欠けた空想的記述に終始しているのは、何よりもその証左ではないでしょうか。

もっとも気になるのは、さまざまな環境にある市民の具体的な暮らしへの眼差しが、この提言の中にほとんど感じられないことです。高齢者、子どもたち、子育て世代、障がいを持つ人々、低所得世帯、そうした市民が地域で生き生きと暮らしていくために何が必要か。そういう視点こそが、多くの市民にとって住み良いまちを創り上げるのに必要なはずで

\* \* \* \*

1994年の「ユネスコ公共図書館宣言」にあるように、図書館は地域の情報センターとして、市民の身近にあるべきことを当然としてきました。そうしないと、「知りたい」という知的欲求は、十分に満たされない性質のものだから、という国際的合意によるものです。

「施設再編計画」は国の要請によるものですが、身近にあるべき公共施設さえ満足に配置できない現実が本当にあるとすれば、市民としてそれをしっかり見据える必要があります。しかし、文化予算比率も人口当たりの図書館数も、いわゆる先進国の中でダントツに低いわが国で、さらに今回のような提言が当然のようになされる事態を、私たちはどう考えたらよいのか、大いに苛立たしい気分になります。

ともかく、この50頁ほどの提言書の主張は、私たちのこれからの生活に大きな影響を与えようとしています。提言の内容に対する賛否はともかく、市のホームページには概要版も公開されていますので、ぜひ一度目を通してください。

(会員)

注1:「Generation、Renovation、Engagement、Enjoy、Natural」の頭文字の語呂合わせ。(この種の文書によく見かける言葉遊びですが、こういうの、もうそろそろ止めませんか?!)

# 町田市の学校図書館 2017 年春

清水 陽子(町田の学校図書館を考える会)

2017 年度が始まってすぐ、学校から図書指導員宛に文書が配布されました。「2017 年度学校図書指導員事業について」です。昨年度、謝礼金の見直しを行ったところ、各方面から様々な意見が寄せられ、その意見を参考に 2017 年度は次のような変更を行いますというものでした。

変更点は2点、資格を持っていない指導員への謝礼が 2016 年度に 3,000 円から 2,500 円に変更されていたのですが、2017 年度は元に戻し 3,000 円とすること(資格を持っている人は 2016 年度に 3,000 円から 3,500 円になったまま据え置き)。もう一点は、研修回数が3回から5回になることでした。

2016 年春の指導員の謝礼金額の変更から始まった混乱の顛末は「知恵の樹」(203、205 号)で既に紹介させていただきましたが、当会の請願が採択された後、2017 年 1 月から 3 月にかけて教育委員会 は庁内検討会を3回開催しています。この会議の内容については公開されていませんが、校長、図書館、財政の担当者が加わり、現状の把握や、課題について検討されたと聞いています。

そして、2017 年度の再度の謝礼金の金額変更。当会の請願は、図書指導員制度の抜本的改革を望んだもので、今回の変更はその請願内容からは遠く離れたものではありません。しかし、教育委員会が予算削減と学校図書館法が改正されたことから、迫られて打ち出した苦肉の策であつたらう謝礼金変更を

めぐり、指導員や学校はじめ市民は学校図書館について、学校司書について、また、町田市がどのような学校図書館を目指すのかということについて、自分の問題として考える機会となったことは間違いないと思います。

今年度の謝礼金の変更は、2016 年度に減額された謝礼金は元に戻し、増額したのものについてはそのままなので、全体予算は増額したことになっています。これは、指導員や学校からの声が行政に届き、わずかではありますが反映されたものです。私たちが要求した抜本的な制度改革は、まだ厳しい道のが控えています、市民の声が行政を動かしたのです。そして、行政も厳しい状況のなかで、学校図書館法の改正にともなう学校図書館改革を目指そうとしています(と信じています)。

今年度は第 5 次「学校図書館整備 5 ヵ年計画」が始まり、学校司書の配置費は、昨年までの2校に1人から1.5校1人分が措置されています。これを反映するよう町田市に働きかけを続けなければなりません。アクティブラーニングが求められる学校現場が混乱することなく、充実した教育の場となるよう、町田市の学校図書館改革を早急にすすめてくることが必要だと考えています。

今後とも是非皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

(会員)

## 第 6 回町田市生涯学習審議会報告

2017 年 3 月 27 日(月)午前 9:30~11:30 (市役所2階、2-3 会議室)

生涯学習全体の検討が中心になるので、今回より生涯学習センター長、図書館長、文学館長も同席。

### 1 会議の進め方

市が進める公共施設再編計画(上位計画)の検討に併せ、生涯学習審議会の進め方を再調整。2017 年度は年間6回の定例会実施予定。5、6、8 月の前半で検討を行い、後半3回で答申をまとめる議論。1月には答申をまとめる。

### 2 市の計画策定に関する動向

公共施設再編計画会議(1月 17 日、2月 16 日実施)の内容を事務局計画会議(1月 17 日、2月 16 日実施)の内容を事務局から報告。再編計画ではサービス機能と建物を切り離して考える。よって、生涯学習審議会の議論もこれを踏まえる必要があるとの説明。また、行政経営改革プランについても説明あり。生涯学習施設の再編とリンクする。この中で、

図書館・文学館は2017年度、2018年度に検討し、2019年度には再編を実施の予定。例えば、図書館については、鶴川団地図書館は団地の建て替えと共に早い議論が必要であり、文学館は2015年度事業評価で厳しい評価を得たため、存廃を含めた検討が予定される。また自由民権資料館は、博物館の見直しと共に、後半の2020年2021年に検討され、生涯学習センターについても集会機能の点で他の施設と合わせて2020年、2021年に検討される予定。

上記報告に対して、委員からは次のような意見あり。

\*再編計画が7月に市民意見を募集するが、生涯学習に対する意見を審議会として出すべきではないか。

\*サービス機能と建物を分けて議論することには無理がある。サービス機能中心の議論でも、建物(ハード)を念頭においた議論や発言が必要である。

\*生涯学習からみれば、公共性と行政が持つ文化的価値を守る機能を忘れてはいけない。お金がないのであれば、それをやりくりするのが行政ではないか。

\*町田の独自性を大切にしないと、夢のないつまらないまちになってしまう。

### 3 今後の生涯学習の意義・役割について

生産年齢人口の減少により、学びも変化する。そ

れを踏まえて、生涯学習は何をして、行政は何を担うべきかという議論が審議会に課せられた主要テーマとなる。

これに対して、各委員が今までの議論の総括を踏まえ、自身考えや経験を全員が発言。

\*生涯学習を支える地域の人材育成とそれを実現する基盤の必要性。

\*ボランティアにすべてを託す現状では、継続性は難しい。そこに行政が関与する意味があるのはいいか。

\*学校の場合、ボランティアコーディネーターの業務量がボランティアの範疇を越えている。出来る人、いる人にただで任せるといやり方では、いずれ破たんする。継続性をどう担保するかも課題。

\*文化の伝統が低い。そのなかで町田の財産として文学館や自由民権資料館があるが、お金がないからといって後退させるのは問題である。また文化施設は周辺自治体と共有することも考えるべき。

\*学校の図書館機能を地域に公開するという考え方があがるが、そのためには、有資格者の専従の司書もしくは学校司書が必置である。そうしないと市民向けのサービスは不可能。また学校図書館は学校教育の情報拠点であり、司書配置によりその機能が強化される。

\*町田に住む魅力とプライドを子どもたちが感じられることも必要であろう。

(文責:山口洋 生涯学習審議会委員、会員)

## 市民が考える町田の行財政 その2

### 『公共施設総合管理計画』一市民生活にもたらす影響は?一

日 時 : 2017年5月23日(火) 午後6:00~8:00

会 場 : 町田市立中央図書館6階ホール

内 容 : 『公共施設等総合管理計画』から見えてくる課題・他市の状況など

講 師 : 伊藤久雄さん

東京自治研究センター理事・NPO法人「まちぼっと」理事

参加費 : 無料

主 催 : まちだ自治研究センター／町田の図書館活動をすすめる会

問い合わせ : 自治労町田市職員労働組合内 まちだ自治研究センター

電話 042-724-2194 または町田市役所内線 5739 FAX042-724-5903

# 片山善博・糸賀雅児『地方自治と図書館－「知の地域づくり」を地域再生の切り札に』(勁草書房)を読んで

駒田 和幸

日本図書館協会が1970年に刊行した『市民の図書館』は、公共図書館発展の基点となったと評される程、図書館の歩みにとって時代を画する書物である。しかしそれからすでに半世紀近くの歳月が経過した。

本書において片山・糸賀両氏は、『市民の図書館』の描く図書館像について「もはや現代社会は飽き足りないものを感じている」として、市民の自立を支援していく「知の地域づくり」の中核として図書館を位置づけていこうと、提唱されている。

確かに1990年代以降、日本社会は大きく変貌を遂げてきている以上、1970年の考え方をそのまま引き継いでいくのはかなり困難と思われる。

では、どのような図書館像がのぞましいのか、片山・糸賀両氏の打ち出された図書館像を含めて大いに検討・議論を深めていく必要があろう。その際、現代社会をどのような社会ととらえるのかといった検討を抜きにしてはなるまい。

ただ本稿では、紙幅の関係でその中身に入ることにはせず、片山氏が鳥取県知事をつとめておられた時期(1999～2007年)に整備に力を入れられた県議会図書館についてだけ述べておきたい。

地方自治法第100条第19項では、地方議会はずばからく議会図書館を設けることを義務づけている。その趣旨を片山氏は、「議会及び議員のミッションである調査活動を資料情報面で支えることにある」とされている。特に議会・議員は首長ら執行部が提出する資料や情報に依存しては、健全な「対抗軸」となりえず、「民主主義の本質からはずれてしまう」。だからこその他の選択肢等を検討できるよう議会図書館を充実させる必要があり、「できれば専任のスタッフ、特に司書資格を持っている職員を配置」するぐらいの充実をはかることが求められると、片山氏は述べられている。

このように片山氏は議会図書館の意義を強調されているのだが、では町田市議会の場合はどうなっているのだろうと、気になって行ってみることにした。

市庁舎3階の議会事務局のとなりの小さな部屋が

その図書室であった。片山氏によると全国の多くの議会図書館が「開店休業ないし物置状態のまま放置されている」とのことであったが、町田市の場合は幸い物置状態ではなかった。しかし、筆者が行った時は部屋の電気はついておらず、あまり活用されている雰囲気は感じられなかった。常駐のスタッフもいないようであった。

また、書棚に並べられた資料は官報や都・市が刊行した資料類がほとんどでそれ以外のは貧弱であった。議会事務局の職員の話では、議員の利用もあまりなく、多くはネットに依存しているのではとのことであった。

なお、この市議会図書室は一般市民も「室内閲覧」に限り利用できることとされているが(「町田市議会図書館管理規程」)、窓のない部屋に長時間いるのは少し苦痛のような気がした。職員の話では、利用者は年間4～5人程度ということで、おそらく存在もほとんど知られていないのではと思われた。

片山・糸賀両氏の本書に促されて、今回初めて市議会図書館を訪れてみた。残念ながら活用されているとはいえない印象を受けた。そのことが市や議会の書物や図書館に対する認識の低さにつながっていなければよいのだがと、少し不安が過ったのも事実である。(会員)

\*『地方自治と図書館「知の地域づくり」を地域再生の切り札に』(片山善博・糸賀雅児著、勁草書房、2016年12月刊)は、町田市立図書館で2冊所蔵しています。請求記号は、011.1/カです。

## 多摩デボ総会と記念講演に参加を!

日時: 5月21日(日) 午後2時～4時40分

会場: 国分寺労政会館 第1会議室(地階)

午後2時～3時 2017年度通常総会

3時20分～4時40分 記念講演

記念講演: 永江 朗氏(著作家)

図書館の「捨てると残す」への期待と不安  
—出版産業の危機の中で / 書き手として、  
利用者として

## 第6回「まちだ としょかんまつり 一本はともだち」 盛会裏に終了！

2017年3月24日(金)～27(月)休館～29日(水) 町田市立図書館全館・市民文学館

主催:まつり実行委員会 共催:町田市立図書館 事務局:中央図書館

行政と市民協働で毎年開催しているこのまつりは、6回目にして「まちだとしょかん子どもまつり」から表記のタイトルに一新、しかし子どもたちを主体にというコンセプトを持って、開催されました。

去る4月18日(火)午後、その実施報告・反省・次年度に向けての話し合いが、中央図書館ホールにて図書館全館・文学館の担当者&12団体(6団体欠席)出席の下行われました。

始めに事務局がスライドで全館のまつりの様子を見せてくれましたが、昨年比してどの館もPR力がアップしており、「今年は頑張ってるアピールしたが、他館のを見て、来年もっと頑張らなければと思った」という職員の声もあり、少しずつですが、まつりが地域館にも浸透している様子が窺えました。

**振り返って:** 毎回、図書館から登録団体に呼びかけ、打ち合わせ日に集まった人たちの参加意思を確認して実行委員会が発足し、実行委員長を決め、コアスタッフは実行委員会と別に会議を持つなどして、実施に向けて動き出します。母体がないため毎回スタートラインに戻ってから話し合いとなり、PTAと同じようになかなか長を引き受ける人がいません。いろいろまつりの意義を唱える者がやらざるを得なくなり今回も長を引き受けたのですが、8月23日から始めて実行委員会4回、コア7回、展示関係作業4回、新規企画での関係者との打ち合わせ等で5回、その合間に実行委員や図書館とのメールでのやり取りなど、忙しい日々が続きました。コアスタッフ(久保、斎藤、丸岡、砂川、津田、武田、萩原、清水)の人たちと一丸になって、参加グループの人たちに支えられての第6回まつりでした。

### 新しい試み

・殺風景な中央図書館エントランスをまつりらしくしたいという案は、エントランスに見張り番を置くということでやっと叶えられ、園児が本と触れ合っている写真(A5サイズ)を市内にある約100園の保・幼稚園から寄せてもらって展示しようと、園児人数分のチラシを各封筒に入れ、写真提供の依頼状と共に実行委員や図書館職員が手分けして園を訪問し直接手渡すなど大変な作業をしてのイベントでした。結局1/3園

の協力が得られたのに留まりましたが、60枚余の写真飾ることができ、来館者からは好評でした。今後、図書館と保・幼稚園の繋がりを持たなければという課題が出ました。延べ84名が交代で展示物見張り当番に立ち、「図書館ってこんなに人が来るんだ!」「展示写真の前で、家族で写真を撮っていた」「後姿しか映っていないとがっかりしていた」などの感想が寄せられました。

・4F「たからじま」でのお話会も、周囲からうさぎという文句が出るからという理由でできませんでしたが、今回3日間終日絨毯にボランティアが座って、子どもが来ると本を読んだり紙芝居をしたりしました。「お話の部屋に入れないうちも、本を読んでもらったりして、とても楽しそうでした」とは、児童カウンターで様子を見ていた職員の感想です。参加は延201(内子ども117)人でした。

・エンディングイベントの観客を巻き込んでの流動的読書会(即興芝居)は、ピッピの会の人たちを中心に練習を重ね、当日は小学生から幅広い年齢層の人たちが参加、増田さんの語り「さるかに」に合わせて演じ手も観客も、楽しみました。

・若者をもっと呼び込もうと、学生たちが手づくり絵本や紙芝居の制作をしている町田近辺の大学に呼びかけ、7大学が参加の作品展示とワークショップ(写真:お話会)を行いました。全日192(子ども116)名もの人たちで熱気が漂っていました。

今回は新しい試みが多かっただけに、コアスタッフ及び事務局は大変だったと思います。お世話になりました。

第7回の打ち合わせ会は6月20日(火)、会期は2018年3月22(木)～25(日)の予定との事。

最後に、図書館と地域が繋がるために、まつり日程を全館共通にして各館が独自に地域の人たちと協働して地域に則したまつりをしてはどうか、という事を提言しましたが、実現することを祈っています。

(実行委員長 増山正子・会員)



## 第6回 <2016年度>まちだ としょかんまつり スケジュール

|                     |   | 24日(金)                              |                    | 25日(土)                          |                                    | 26日(日)                          |                                     | 28日(火)  |                                      |  |
|---------------------|---|-------------------------------------|--------------------|---------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|---|--------------------------------------|--|
|                     |   | 午前                                  | 午後                 | 午前                              | 午後                                 | 午前                              | 午後                                  | 午前  | 午後                                   |  |
| 中央                  | ホール                                       | ★オープニング<br>☆草花あそび/<br>野津田雑木林の会      | 子ども向け映画会<br>「ピノキオ」 | ☆ピピピの<br>つつした/ワー<br>クショップ       | ☆学校図書<br>館を考える<br>会/講演:ワ<br>ークショップ | ★落語をき<br>こう!/桜美林<br>大学落語研<br>究部 | ★インディ<br>ンク/参加<br>型演劇(昔話)<br>「さるかに」 | 控室  | ☆まちだ語り手の<br>会/お話・伝承<br>の語り手の内的<br>世界 |  |
|                     | 4F<br>お話室                                 | 乳幼児2回                               |                    | ☆町田ブック<br>外ークの会<br>/2回          | ☆おはなし<br>はすの実                      |                                 | ☆おはなし<br>如雨露                        |   |                                      |  |
|                     | たからじま                                     | ☆NPO 法人 まちだ語り手の会/おはなし、おはなし          |                    |                                 |                                    |                                 |                                     |   |                                      |  |
|                     | 中集会室                                      |                                     |                    |                                 | ☆ピピピ<br>のつつした<br>読書会               | ☆まちだ史考会/横浜線<br>と小田急線の歴史         |                                     | ★大学生の手作り絵本・作<br>品展示/読み聞かせワー<br>クショップ                        |                                      |  |
| 奉仕ルーム               | よめるかな? 点字クイズ 24日、26日、29日 (&点字で名前をうってみよう!) |                                     |                    |                                 |                                    |                                 |                                     | 小集会室 29日午後:本にフ<br>ィルムはってみよう                                 |                                      |  |
| 町田市民文<br>学館<br>大会議室 |   | ★童話の木 20<br>周年/優秀作<br>品入賞者によ<br>る朗読 | ☆桃の木工<br>房 お話会     | ☆町田の図<br>書館活動を<br>すすめる会<br>/講演会 | ☆かえで文<br>庫/親子わら<br>べうたあそび          |                                 |                                     |   |                                      |  |
| さるびあ                |   | ブックトーク                              | 乳幼児向<br>けお話会       | おはなし会                           | 乳幼児向<br>けお話会                       | ☆町田ブ<br>ックトー<br>クの会             |                                     | ★MIX<br>お話会<br>・29日午後お話会                                    |                                      |  |
| 鶴川                  | 乳幼児向<br>けお話会                              | ☆チョコの会<br>お話会                       |                    | おはなし会                           |                                    |                                 | ★MIX<br>お話会                         | ・29日午後ブック<br>トーク  |                                      |  |
| 鶴川駅前                |   | ブックトーク                              |                    | ☆柿の木文<br>庫 お話会                  |                                    |                                 |                                     | おはなし会<br>・29日午前 2・3<br>歳児向けお話会                              |                                      |  |
| 金森                  |   | うさぎの会<br>おはなし会2回                    | 乳幼児向<br>けお話会       |                                 | おはなし<br>会                          |                                 | ブック<br>トーク                          | 0-5歳児向け絵<br>本講座<br>・29日午前・午後<br>お話会<br>お話会<br>・29日午後<br>お話会 |                                      |  |
| 木曾山崎                |   | MIX お話会                             |                    | えいが会                            |                                    |                                 |                                     |   |                                      |  |
| 忠生                  | ☆うさこちゃん<br>の会 乳幼児<br>向けお話会                | 備考 ☆参加団体企画 ☆実行委員会企画<br>無印:図書館       |                    |                                 |                                    |                                 | ブック<br>トーク                          | 29日午前<br>☆おはなしポケッ<br>ト<br>2・3歳児向けお話会                        |                                      |  |
| 堺                   | 乳幼児向<br>けお話会                              | 参加延人数: 2,211人(内子ども1,149人)           |                    |                                 |                                    |                                 | お話会                                 | 29日午後 お話会   |                                      |  |

**展示** ★24日～28日 エントランス「本はともだち」 町田市内の園児たちからの写真メッセージ! /市内全園に、子どもが本に親しんでいる写真提供を依頼.70枚ほどを展示/展示作業中 ⇒

★14日～26日 エスカレーター脇ガラスケース・平台ケース内  
「私たちの おとなりさん」&フィールドサイン 身近な里山から地球に棲む生き物たちを、写真・絵画・本で紹介. 資料提供:野津田・雑木林の会



### JAPAN WILD CENTER

☆期間中(3/17～3/27)  
こどものひろば他壁面  
「町田の地名」  
町田地方史研究会



エントランスで案内役をしてくれる大学生 ⇒





# ひろば

例会 3/28 (火) 報告

・18:00~20:10 中央図書館・中集会室  
・3/31 (金) №211 印刷他(清水・多田・手嶋)

出席: 飯野・石井・兼田・久保・駒田・齋藤  
・清水・しょうじ・手嶋・守谷・山口・吉岡(異動の挨拶のみ)

## 議題

### 1. 会報について

No212: 巻頭言未定、「としょかんまつりの反省」(仮題、増山)、広瀬恒子さん講演会の報告(山口)、生涯学習審議会第6回定例会報告(山口)、「町田市5ヵ年計画 17-21 について」(守谷)、「図書指導員謝礼の金額変更について」(清水 or 水越)、「6月に秩父で開催の図問研大会について」(山口)

### 2. すずめる会のリーフレットの改訂について

増山、高橋が引き続き担当し、検討する。

### 3. 今年度の活動計画について

#### 指定管理者制度導入に反対する活動

何をするか⇒○直営の魅力を伝え、またなぜ直営でなければならないのかを理解してもらえよう、継続的に活動を検討・実行していく。○図書館業務を広くPRしていく(「知恵の樹」の寄稿など)。○講演会 ⇒継続的に活動を検討・実行していく。

### 4. 町田市の財政分析について

第2回以降、どのような内容にしていくか議論が必要。とりあえず、第2回は町田市立図書館の現状報告・分析。⇒5月開催予定。⇒その後5/23(火)開催に決定。「知恵の樹」№212参照。

### 5. 「町田市5ヵ年計画 17-21」について

「知恵の樹」№212参照。

### 6. 図書指導員謝礼の金額変更について

「知恵の樹」№212参照。

### 7. としょかんまつりについて

#### ①中間総括

⇒来月報告する。

#### ②広瀬さん講演会

32名参加(市内18名、市外14名?、会員8名)

⇒「知恵の樹」№212掲載 ⇒「知恵の樹」№213に掲載予定。

### 8. 「知恵の樹」発行部数と配布先の見直しについて

現行550部印刷。№210から市議会議員に配布等のため、40部増刷(配布見直しにより、30部減) ⇒560部印刷。

### 9. 図友連要望書(文部科学大臣・総務大臣宛て)案について

修正案 ⇒ 次回の例会で意思一致を図る。⇒その後確定案が出されたため、次回の例会で検討する(公立図書館に図書館協議会を設置する法改正を求める内容を修正し、公立図書館に図書館協議会の設置を促進するとともに、その活動を活発にすることを求める内容にした)。

## 報告

### 1. 町田市公共施設再編計画策定検討委員会

次回の例会で報告してもらう。

### 2. 団体及び個人からの報告

・嘱託労: すずめる会担当の1名、4月より中央図書館へ異動。

・学校図書館を考える会: としょかんまつりの企画(3月25(土)日開催の木村研さんワークショップ)に、大人37名、子供32名の参加があった。

・野津田・雑木林の会: 運営協議会3月29日(水)開催予定。事前送付資料に「指定管理者が業者に委託をしてフリーマーケットを開催する(5月試行)」旨、突然の報告あり。

・石井: 外部倉庫(旧忠生6小)に預けてある資料を今年度中に引き取らなければならない。書庫が空いているさるびあ図書館と忠生図書館が引き受けるしかない。旧私立鶴川図書館の資料も100箱(約4,5千冊)ある。

### 3. その他(第6回生涯学習審議会)

3月27日(月)開催。「知恵の樹」№212参照。

## 《編集後記》

今号の巻頭言は、『まだニューパラダイム 2030年に向けた町田の転換』についてである。「5ヵ年計画」や「施設再編計画」のベースを成すものだ。5/23(火)に市民が考える町田の行財政その2『公共施設総合管理計画』—市民生活にもたらす影響は?—を開催する。また、「片山善博・糸賀雅児『地方自治と図書館—知の地域づくり』を地域再生の切り札に』(勁草書房)を読んで」は、議会図書室のことを取り上げている。片山氏が鳥取県知事の時に実践したもう一つは、県庁図書室の設置であった。(T<sup>2</sup>)